

国語問題

【令和六年度入学試験】

【令和6年3月15日実施】

一 次の文章を読んで後の問いに答えよ。ただし後で二の文章と共通する問いがあるのでそのつもりで読むこと。

実家周辺のクワは今のところ家畜を襲うという行動はしていない。しかしこれがもし60頭以上の牛を襲い、昨年駆除された雄ヒグマ「OSO18」のように肉を食うことに執着し、放牧されている牛に爪をかけるようなことがあれば、農家の側としてはやはり駆除を含めた対策を③「コウジ」なければならぬ。

OSO18だけでなく、昨年は北海道内や本州の広い地域でクワの被害が相次いで報道された。環境問題、人間の活動の影響など、遭遇の原因と思しき条件は幾つか挙げられたけれども、理由が分かったとて簡単に解決できる問題ではないことがほとんどで、結局は駆除という対応を迫られることになる。

クワの駆除の話が出ると、「死なせず捕獲しては」「もともととは彼らの住処に人間が後から来たのだし」という反対の声が上がると聞いた。そういう意見が出るとは、私はもともとだと思っ

なく思う。それは人間を人間たらしめる一つの特徴だ。美点と言ひ換えてもいい。

(A) クワが駆除されることに暗澹たる思いを抱く、それは非常に尊い心の動きで、誰もそれを否定すべきではない。(B) クワの被害から遠いところで生きる人全員が「人間の営みを害する動物など(ア)で全て殺してしまえ」などと迷いなく主張してしまうようになれば、それは②人間の思考が貧弱になったとさえ言えると思う。だから、クワが可哀想だ、といった③視点は軟弱だと乱暴に切り捨てられるべきものではない。

(C) 同時に、人間以外の動物、こと野生にある生き物が人間に配慮や同情をしてくれることは一切ない。もし野生動物が人間になんかの遠慮をして見えることがあるならば、それは気遣いではなく一種の警戒行動であると思う方がいい。④投じた愛が同等の愛で返されることを決して期待してはならない。

そして、いかに多様な意見が存在しようが、絶対に守られなければならない一線というものはある。まずは人命第一。人間は人間の生命の安全を最優先にしなければならない。故に、住宅地に侵入したクワは⑤「スミ」やかに排除されねばならない。可哀想という意見はやはり出るだろう。しかしもし人が襲われたらその人こそが可哀想だ。

そして次に守られなければならないのが産業、特に農業だ。農家というのは自分が管理する土地や作物、家畜を絶対的に守り、それを⑥「オビヤ」がすものは除かねばならない。そうでなければ生産は低下し、食料流通のシスムは瘦せ衰え、(D) 非農家が金を出せば農産物を買えるという社会の仕組み自体が成立しなくなる。

ただでさえ農家の現場は近年のコスト上昇のために苦しみ、その上さらにクワを含む害獣問題にも頭を悩ませている。私の実家も今ところはクワで困ることこそないが、エゾシカの被害は年々増える一方だ。

害獣問題や環境悪化には、影響を受ける里山や第1次産業などの最前線の現場がある。その場に立ち、感情や経済的な損得を含めた事情に踏み込まねば見えてこない道理というものが存在する。それらを踏まえて出された最適解でなければ現実的な解決にはつながらぬ。

⑦逆に言えば、現場を知らずに「こうすべきだ」と遠方から意見をぶつけ、それがたとえどれだけ善性に基づく⑧「テイ」言だったとしても、現実にはなりえないのだ。重ねて言う。心で思うのは自由だ。声を上げる権利もある。だが⑨意見を押しつけた時点で現場当事者にとってほただだ負担が増すだけだ。

朝日新聞河崎秋子の文章による。

OSO18 北海道東部で令和元年から令和5年に掛けて多くの家畜を襲撃していた雄ヒグマのコードネーム。

問一 傍線部⑨のカタカナを漢字に改めたものとして適当なものをそれぞれの①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

- ①Aだから Bむしろ Cだが Dひいては
②Aしかし Bさらに Cただし Dよしんば

解答番号⑤

- ③Aもし Bもしも Cもつとも Dしかし
④Aかりに Bそして C加えて Dただし

問三 傍線部①の意味として適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。
①暴力を振るわれる ②好い思いをさせる ③損をさせる ④好き勝手にさせる

解答番号⑦

- 問四 (ア)に入る四字熟語として適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。
①天地神明 ②問答無用 ③天地無用 ④試行錯誤

解答番号⑧

- 問五 傍線部②の内容として適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。
①クワの被害とは関係のない人々は被害を想像できないために安易な対策を考える。
②多様な考えを否定する視野の狭さが極論によって問題点を解決しようとしている。
③クワの生態も被害も知らなくせにクワの保護を主張するが、それは偽善にすぎない。
④人間と野獣とが共存できる工夫をしているのにメグアイアは無責任な感想ばかり言う。

解答番号⑨

- 問六 傍線部③の意味として適当でないものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。
①考えが感情的で幼稚だ。
②考えが狭く偏っている。
③現実のクワを知らない。
④人命を軽視している。

問七 傍線部④の意図するものとして適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。 解答番号⑩

- ①野生のクワは人間から餌をもらうときだけは言うことを聞くが、普通は人間とは生活圏を異にしている。
②野生のクワは人になれていてかわいいで、上手に接していけば農林業などの人間の営みと共存できる。
③野生のクワは人里に近づいてくるとはこれまてなかつたので人間とは基本的に生活範囲が違っている。
④野生のクワに人間の情愛は通じず、人間にとつては危険な猛獣であることを常に意識しておくべきだ。

問八 傍線部⑤の内容として適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。 解答番号⑪

- ①ヒグマやエゾシカを保護する動物愛護の精神が地球環境を守ることになるので国の財政的な負担で被害被害の農林業従事者を守るのが最も現実的な被害対策である。
②被害対策に対する善意の意見は極力尊重すべきであり、メグアイアで報道される様々な意見を整理集約して国や地方自治体が主体となつて取り組みべきである。
③被害の被害者が直面している現実とその背景を知らずにメグアイアなどに出る多様な意見や感想が、被害の現場の新しい負担となつたり、精神的な圧迫となつたりする。
④被害被害の農家が悩みを訴えろと、メグアイアに出たコメントターが「ヒグマを死なせず捕獲するべきだ」と言うのでそれが国民の大多数の意見になつてしまう。

二 次の文章を読んで後の問いに答えよ。

「草の根を分けてでも探し出す」という。あれは、じつさいに草の根を分けたことのない、机上の言葉だと思ふ。探し出せないです。分けたところで。 狐期が始まった。狐の9割は探すこと。特製の鎌をもち、イバラに満ちた草をかきわけ、撃ち落とした獲物を探す。そして見つからないのである。昨日も草っ原を腰かがめて探すこと1時間。草の根を分けた。いない。こんなことを3時間続けたことがある。異常者である。

ここまで執着するのは、「可哀想」と思うからだ。撃たれて、まだ生きていて、身を潜めているのではない。いずれ死ぬ。狸や猛禽類に見つかり、息したまま食われるかも知れない。 自分も殺して食うのだから「可哀想」とは偽善。嘲笑・痛罵されるだろう。 帰り道、干^⑨タ^⑩地の水路に張つてあつたヒールひもに、真鴨が引っかかつていた。羽を絡ませている。もかくほどこく締まる。逃がしてやろうと、頑丈なひもを引いたりねじったり。どうしても羽からほどけない。 勝手に切れば器物損壊。「可哀想」だが、そのままにするほかなかつた。

今年は全国で、熊の被害が頻発している。人が襲われ死亡することもある。

捕らえた熊を処分すると、自治体に抗議の電話が相次ぐ。殺すな、という。仕事にならないところもある。またそうした報道があると、こんどはその「クレイマー」に向け、SNSで悪罵や嘲笑が浴びせられる。自分や家族が襲われたら、それでも熊が「可哀想」か、と。

田仕事を教えてくれた故・師匠は、私が獵師を始めるとき「ライとは付き合えんだあ。シシやって可哀想かだ。涙流しおっぞう」と言った。そのあと、けものを精肉して持っていくたら、好物だと尻を下げた。①矛盾している。

②志賀直哉の短編「城の崎にて」は昔、教科書で読んでさっぱり意味が分からなかった。事故で死にかけた作家が、ある日、蜂の死骸を見る。仲間の蜂は見向きもしないで働く。蜂の死に、作家は「静かな感じ」をもつ。別の日鼠が子供にいじめ殺されるのにあう。「死ぬに極つた運命を担ひながら、全力を尽して逃げ廻っている様子」をみて「怖ろしい」と思う。また後日、散歩中の川縁で、なにげなく蝶蛹に石を投げる。意③トせず当たって、蝶蛹は死ぬ。「可哀想にと思ふと同時に、生き物の淋しさを一緒に感じた」

わたしにも、こんな経験がある。

幼児のとき、虫をとっては殺していた。子供は残酷である。ある日、蟻を洗面器の水に落とし、はい出ようとするのをまた落とした。父親が寄ってきた。父親が寄ってきた「可哀想だね」と言って向こうへ行つた。この父親は心優しい男でもなんでもない。家庭を苦しめたギャンブラーで、わたしとはとくに相性が悪く、顔を足蹴にさされたことがあった。

それはともかく、幼い記④オクにはつきり残っているのは、そのとき初めて「可哀想」という言葉を覚えたことだ。その後、虫や小動物を意味なく殺すことはいちどもしていない。部屋で蜘蛛を見つけると、そつとつまんで外に出す。

「可哀想」という気持ちは、生き物に自然な、生得的な感情では無い。後天的に獲得する、人間だけの心のありようだ。不自然で矛盾しているのは、あたりまえだ。机上の論ではない。山で命と⑤タイ峙していると、そう分かる。③「可哀想」を嘲笑する元氣は、わたしにはない。

④生き物の淋しさを感じるだけだ。

問一 傍線部⑨のカタカナを漢字に改めたものとして適当なものをそれぞれ次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

- ①宅 ②拓 ③卓 ④択 ①賭 ②徒 ③吐 ④図 ①憶 ②億 ③臆 ④遺

問二 傍線部①の内容として適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

- ①害獣のクマやイノシシやシカを駆除しようとする決まっ殺すなと言ふ意見が数多く寄せられる。
②鳥獣を狩猟で撃ち殺して食う一方では、網にひつかかつてしまった野鳥を助けてやるうと懸命になる。
③撃ち落とした獲物を草の根を分けてでも採し出すと言ひながら実際は、1時間採しても見つからない。
④筆者に殺されるシシは可哀想だと言ひながら筆者が殺して持参したシシの精肉を嬉しそうに食べる。

問三 傍線部②の志賀直哉の作品を次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

- ①津軽 ②暗夜行路 ③黒い雨 ④野火

問四 傍線部③の内容として適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

- ①自分が山野で鳥獣を撃ちながら駆け巡っているで身体的に疲れ果ていて、狩獵者の視点から反論する体力がない。
②害獣を殺すのは可哀想だという人々の素朴で純真な言葉に対して、自分は鳥獣を殺しているので反対意見をいう資格がない。
③獣の害を知らない人が、害獣駆除を感情的に可哀想だという単純さ・素朴さを、現実を知らないからだ馬鹿にすることはできない。
④鳥獣を鉄砲で撃つ一方では小さい蟻を助けてやるというように内面が矛盾しているのが普通の人間のありようである。

問五 傍線部④に込められた筆者の心情として適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

解答番号 [19]

①自分で鳥獣を殺しておきながら可哀想だと思ふと同時に、生き物が偶然に理不尽なことで死ぬのは淋しいという心情。

②狩猟を終えた時、ふと自分が鳥獣を殺して食うようなことをしていることに罪深さを感じて神仏の罰に背筋が寒くなる心情。

③鳥獣を殺して食っている自分ではあるが、自分も含めた生き物はいつかは必ず死ぬという諸行無常を感じて死を恐れる心情。

④山でいろいろな鳥獣と向き合っていると弱肉強食という生き物の淋しさが強く感じられ、人間社会の優しさにほっとする心情。

問六

①の文章と②の文章に共通しない内容を次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

解答番号 [20]

①人間が生活していくためには場合には場合によって、可哀想だが動物を殺すこともあり得る。

②人間や動物に対して可哀想だと思ふ感情は人間だけが獲得した尊い感情である。

③害獣を駆除するとなると決まって反対意見が出るのは人間の社会として当然である。

④害獣の現状を知らない人が遠いところから獣を殺すなどと言うのは無責任だ。

三

次のA～Eの文の傍線部と文法的に同じ働きをするものをそれぞれの①～④から選んで記号で答えよ。

解答番号 A [21] B [22] C [23] D [24] E [25]

A 大晦日になってもまだ餅をついていないなんてどうかしてるよ。

①彼がへそを曲げるのも当然ではないか。

②君を困らせる積りなんて毛頭ないよ。

③反対多数で県の条例が成立しないことになった。

④財布には百円玉が一つ、それ以外にはないのだよ。

B 幼いけれど幼稚園生なりに考えているんだなあ。

①その子はママの顔を見るなり泣き出した。

②貧しいなりに幸せな暮らしをしている。

③釣り竿が弓なりにになった。

④しばらくなりを潜めていたが、また怪しい動きをしてみた。

C スーパーに行くのは買い物のためばかりではないのです。

①五、六歳ばかりの子供がたった一人で歩いている。

②私がばか나ことを言っただばかりにあの人を傷つけてしまった。

③買ったばかりの服をもう汚して帰ってきた。

④あなたは口先ばかりで実行したためにない。

D 私の予想とはおよそかけ離れて断然トップで優勝した。

①善良な人々にはおよそ考えられない悪事をはたらく人がいるものだ。

②そのホームランにおよそ五万人の観衆が大喝采した。

③およそそのようなことを苦しい息の下から述べた。

④およそ芸術というものは定義などできないことが多い。

E あの老人は戦後シベリアに抑留されていたらしい。

①侍の世が終わったからあたらしい時代が来るぞ。

②若君が殿様の御子でないということは確かなことらしい。

③今のような乱世にこそ武士らしい行動をとれ。

④あの幼子が憎らしいことを言うようになった。

四

次のA～Gの四字熟語の意味として適当なものを選んて記号で答えよ。

- 解答番号A[26]B[27]C[28]D[29]E[30]F[31]G[32]
- A牽強附会(けんきやうふかい) B当意即妙(とういそくみやう) C付和雷同(ふわらいどう) D意氣投合(いきとうごう) E鼓腹擊壤(こふくげきじやう) F右顧左眄(うさぞへん) G金科玉条(きんかぎよくじやう)

五

次のA～Gの意味となることわざ・慣用句を後の①～⑨の中から選んて記号で答えよ。

- 解答番号A[33]B[34]C[35]D[36]E[37]F[38]G[39]
- A内部にいてわざわざいをなすもの B立身出世のたとえ Cぐんぐん上昇するさま D女の子を大事に育てるさま Eきわめて危険なさま F出し抜いてすばしく利益を得ること Gふだんと違っておとなしくしている様子

- ①お山の大将 ②虎の尾をふむ ③借りてきた猫 ④生き馬の目を抜く ⑤鯉の滝登り ⑥蝶と花よ ⑦うなぎのぼり ⑧獅子身中の虫 ⑨爪に火をともし

六

次の文章のA～Gに入る慣用句として適切なものを選んて記号で答えよ。

- 解答番号A[40]B[41]C[42]D[43]E[44]F[45]G[46]

A(A)用事ができてしまって約束の時刻に遅れてしまった。

B「あの一球がなければ優勝していたのに」と今でも(B)思いだ。

C事故だ事故だと(C)乗客を乗務員が落ち着かせて人々を誘導した。

D弟子の分際で師匠の芸にダメを出すとは(D)奴だな。

E相手が小さいからと(E)と思わぬ技で負けてしまうぞ。

Fお見合いをさせただけお互いに(F)様子だったよ、きつと婚活成功だな。

Gお定まりの御善徳悪時代劇だが悪党が捕まるとやはり(G)ね。

- ①うそ寒い ②まんざらでもない ③たかをくくる ④おこがましい ⑤浮き足立つ ⑥ほぞをかむ ⑦茶々を入れる ⑧溜飲が下がる ⑨のんびきならない

七

次の文章のA～Eに入る人名として適切なものを選んて記号で答えよ。

- 解答番号A[47]B[48]C[49]D[50]E[51]

十九世紀後半、フランスを中心に起こった自然主義は、人間や社会の現実を客観的に表現しようとする運動であつたが、わが国では明治三十年代半ばからこの運動が紹介され、明治四十年代は、全盛の時代であつた。たとえ、明治三十九年、(A)は『破戒』を著して因習的な社会問題を素材にした。これが日本における自然主義文学の最初の作品と言われる。

翌明治四十年には(B)が自伝的告白をした『蒲団』を著した。その後、この運動は、社会問題の追及よりも私生活の告白へと向かうようになり、私小説や心境小説を生むこととなった。

一方、この運動が私生活を暴露する方向に進んだことに対して批判する立場もあつた。こうした批判の立場の文学を総称して反自然主義という。この立場は、森鷗外や(C)らの高踏派、(D)や谷崎潤一郎らの耽美派、武者小路実篤や(E)らの白樺派などに分けられる。

- ①志賀直哉 ②永井荷風 ③夏目漱石 ④田山花袋 ⑤樋口一葉 ⑥島崎藤村 ⑦川端康成